

株式会社 千葉経済開発公社

1 団体概要

設立年月日	昭和46年6月11日	資本金	100,000 千円 (うち市 40,000 千円 40.0%)
設立目的	千葉市内における住宅団地、特に稲毛海浜ニュータウンにおいて、店舗、事務所、駐車場等の建設・運営を行うことを目的として設立		
所在地	千葉市美浜区高洲2丁目3番14号		
代表者	代表取締役社長 小早川 雄司		
所管課	経済農政局経済部産業支援課		

2 組織状況 (令和6年4月1日現在) (単位:人)

	常勤	非常勤	計
役員(監事含む)	3 (1)	6	9 (1)
うち市OB	1		1
うち市派遣			
職員	3		
うちプロパー	3		
うち市OB			
うち市派遣			
計	6		

※常勤役員と常勤職員とを兼務している者については、常勤役員数にのみ計上し、その人数(内数)を括弧書きで記載している。

3 財務状況 (単位:円)

	R3年度	R4年度	R5年度
営業利益	51,418,305	32,927,620	31,608,006
経常利益	52,876,627	35,301,193	34,077,156
税引前当期純利益	57,940,460	39,687,391	34,071,705
当期純利益	42,985,660	29,171,091	22,891,905
総資産(A)	1,775,596,074	1,778,029,642	1,789,614,131
負債(B)	485,921,517	464,183,994	457,876,578
純資産(A-B)	1,289,674,557	1,313,845,648	1,331,737,553
市補助金	0	0	0
市委託料	0	0	0

職員平均年齢	53.7 歳	職員平均給与(年額)	5,250,541 円	役員平均報酬等額(年額)	9,106,537 円
--------	--------	------------	-------------	--------------	-------------

※常勤職員(市派遣を除く)の平均

※常勤役員についての平均

4 実施事業 (単位:円、%)

主要事業	区分	事業内容	事業費※	事業費※	
				市支出額	依存率
マリンピア事業	自主	マリンピア専門店の管理運営			
ショッピングセンター事業	自主	高洲第一ショッピングセンター、高浜ショッピングセンター、稲浜ショップの管理運営			
駐車場事業	自主	高浜ショッピングセンター月極駐車場の管理運営			
土地賃貸事業	自主	介護付有料老人ホームへの土地賃貸(定期借地権)			
			224,350,340		0.0

※R5年度決算額

指定管理者として管理する公の施設	
------------------	--

情報公開	HPアドレス	http://www.ckkk.shop
	公開情報	<input type="checkbox"/> 定款・寄付行為 <input type="checkbox"/> 役員名簿 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 経営改善計画

5 評価指標(共通指標) (単位:%)

	評価指標	R3年度	R4年度	R5年度
自立性	補助金依存率	0.0	0.0	0.0
	受託事業収入率	0.0	0.0	0.0
	自主事業比率	100.0	100.0	100.0
効率性	人件費比率	34.5	33.4	31.7
	販管費比率	99.4	99.5	99.5
安全性	自己資本比率	72.6	73.9	74.4
	流動比率	325.1	376.7	462.8
	固定長期適合率	86.9	88.0	85.9

6 外郭団体による評価

総合評価	再優先課題である高洲第一SCのスーパー後継テナント誘致については、駐車場台数が少ないことや建物が老朽化していることから、活動が成果に結び付かず厳しい状況。そこでSCの建替えによる新規テナント出店ニーズを探るべくコンサルとの意見交換を開始した。マリンピア事業では、令和6年3月の賃料更改に向け交渉を進めた結果、従来と同額の賃料で合意を得て、今後も安定した収入が見込めることとなった。当期売上高は前期比横ばいの2億56百万円、営業利益32百万円、経常利益34百万円と前期とほぼ同額であったが、今期は特別利益の退職給付引当金戻入がなく当期純利益23百万円と減益となった。
今後の方針	令和5年度開始した高洲第一SCの建替えによるテナント誘致活動について、令和6年度早めに方向性を決定し行政との協議を進め、地域住民の皆さまの日常のお買い物に対するご不便解消の目途を早期につけていく。当社既存施設を地域交流拠点として強化するため、環境整備を進めていく。マリンピア事業では、イオンマリンピアSCの設備維持及び機能向上に向け、イオンリテール株式会社と意見交換を進めていく。これらの活動を通じて、「地域の皆さまのお役に立ち、皆さまが集える施設」の新しい時代に適合した姿を追求していきたい。

7 所管局による評価

総合評価	高洲第一SCについて、テナント誘致活動と並行して、建替えによる新しいニーズを探るべくコンサルタントとの意見交換を開始したことについて評価したい。 また、マリンピア事業では、専門店の売上動向や施設の管理状況を踏まえて交渉を続けた結果、従来通りの賃料で合意を得たこと、イオンマリンピアSCは直営部門及び専門店の売上高がともに、コロナ禍前を上回る水準となったことを評価したい。
今後の方針	現在誘致活動中の高洲第一SCについては、早期に方向性を決定し、近隣に住む地域住民の不便解消に努めていただきたい。今後も景気回復の見通しは不透明であるが、引き続きテナントの退店回避につながる支援を実施しながら、貴社の重点課題である地域交流拠点としての機能強化と環境整備に向け、地域住民への幅広いサービスの提供を継続していただきたい。